

# 「釈迦堂川流域水害対策協議会」発足会 議事概要

日 時：令和6年5月31日 13時25分～14時30分

場 所：円谷幸吉メモリアルアリーナ 会議室

出席者：福島県知事（代理：土木部参事）、白河市長（代理：建設部長）、須賀川市長、鏡石町長、天栄村長、西郷村長（代理：副村長）、泉崎村長、矢吹町長（代理：副町長）、福島地方気象台長、東北農政局農村振興部長（代理：地方参事官）、福島森林管理署白河支署長、日本大学工学部土木工学科朝岡教授、福島大学共生システム理工学類川越教授、日本大学工学部建築学科市岡専任講師、東北地方整備局長（代理：副局長）

報道機関：テレビユー福島、読売新聞社、毎日新聞社、福島民報社、福島民友新聞社、福島建設工業新聞社、マメタイムス社、あぶくま時報社

## 議事次第：

1. 開会
2. 挨拶：国土交通省 東北地方整備局 副局長、福島県 土木部 参事
3. 協議会規約について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料1】
4. 議事
  - ① 流域水害対策計画の策定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料2】
  - ② その他 今後のスケジュールについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料3】
5. 代表者挨拶：須賀川市長
6. 写真撮影
7. 閉会

◆ **協議会規約について**

< **事務局** >

- ・協議会規約（案）については委員から意見無しのため、本日（5月31日）付で協議会を設立する。

◆ **議事に対する委員からの意見**

< **福島大学 川越教授** >

- ・資料2の17ページが気になって、現時点で考えられる案ということで提示しているが、流域治水の話なので、具体的に釈迦堂川の上流側もしっかり対策を考えていかないといけない。
- ・ここで1番大事になってくるものは、わかりやすい説明提示である。どういう対策が流域全体として望ましいか、できるだけ対策のオプションを用意して、いろいろな議論ができればよい。今後の展開はどうか。

< **事務局** >

- ・全くご提案の通り。今後、自治体の方はもちろん、住民の方に対しても、わかりやすく提示していくことは、大変重要なことである。
- ・ご提案いただいた様々なオプションを用意することも含めて、わかりやすい支援というものを、今後、皆さんで議論できればよいと考える。

< **日本大学 市岡専任講師** >

- ・資料2の17ページでは、色々な事業が同時並行的に行われるような印象を持ったが、同時並行的に実施するということが望ましいのか、それとも計画的に進めるスケジュールを考えているのか。そのような事も示していくのか。
- ・対策案のオプションは、これから様々な提案が出されるとの説明を受けたが、河道を掘削するメニューの方が多い。その他の整備案は、これから徐々に出てくるということか。

< **事務局** >

- ・まさに、今回のこの計画を作成するということで、どのような順番でどういうスケジュールで各メニューを実施していくかということも、同時に考えなければいけない。
- ・全体の効果を早く発現するという意味では、早く実施できた方がいいが、上下流のバランスや体力的なところもある。そういったことも含めて、スケジュールも示しながら、計画を示していく。このような事を皆さんと連携しながら具体的な検討を進めていきたい。
- ・今後、具体的に詰めていく中で、これ以外にもいろいろなメニューが出てくると想定しており、この整理している中でも様々なオプションが考えられると思う。そういったことを、わかりやすく示して行くということも重要。

### < 鏡石町 木賊町長 >

- ・私の町では本川の阿武隈川の流域治水ということで、いま遊水地整備を行っているわけがあるが、この計画の中にいわゆる本川と釈迦堂川の関わり方がどういう風になっていくのか、というようなことを入れておくべきではないのかと、説明を受けて感じた。そういうことをすることで本川の方がこのようになるなど、そのようなことを表示しておくことが、計画の中では必要。

### < 事務局 >

- ・そもそも釈迦堂川が本川の水位の影響というものを、かなり強く受けている。そのため、本川の方の整備をどのように進めていくか、それとどのように連携するのかということころは、メニューを考える上でもすごく重要なことだと考えている。
- ・メニューを考える前提となるようなことであるため、ご指摘いただいたように、本川の整備との関わりというものをしっかり考慮しながら、計画を立てていきたい。

### < 須賀川市 橋本市長 >

- ・須賀川市はやはり一番下流で最も被害が出る地域であるため、この対策には大変期待を持っている。
- ・現時点で想定される主な対策の中で、河道掘削というものが非常に目に留まる。河道に水が大量に通りやすい状況になると、一気に流れてくるのではないかという不安も当然ある。
- ・須賀川市で田んぼダムなどの取り組みをしていく中で、一時的にでも少し貯留する、上流側での貯留機能を充実させるということも大変期待をしている。
- ・例えば、元々ある田んぼを活用して、一時的な貯留ができるという状況をより多く生んでいくためには、当然ながらその農家の方々の理解も必要という点で、河川管理者だけの取り組みでは、なかなか難しい部分が当然ある。その他の行政機関も一緒に取り組むことで、何らかの、補償面での問題もあるが、その辺も具体的に考えてほしい。
- ・一時的な貯留機能を生かして、減災につながるような取り組みをもっと具体的にしてもらえると、我々としても大変安心感が出る。是非そういう議論まで踏み込めるとありがたい。

### < 事務局 >

- ・ご指摘のような、管理者以外の地域の協力というところもある。今回の資料にも入れているが、河川や下水道管理者以外が主体となるような項目というのも一緒に考えていき、計画として定めることも考えたい。
- ・田んぼダムや雨水の貯留浸透施設といった、もともと想定されるメニューがあるため、ご指摘のような地域の方々との連携を図っていきたい。

### < 天栄村 添田村長 >

- ・ 釈迦堂川上流域の対策として、以前に阿武隈川の流域治水対策にあたって、橋本市長から話があったように、田んぼダムについて農家の方々との意見交換をしてきた。
- ・ 村の中で遊休地、耕作放棄地がある。上流域はイノシシの被害や鹿の被害ということで耕作放棄しているところがある。そういうところは林になったり、木が生えたりしている場所であるため、整備すればいい機能が持てるなど感じている。
- ・ 釈迦堂川の上流には龍生ダムがあり、県が中心となって、村と土地改良区、受益者が負担をしながら、浚渫と機能強化、長寿命化の整備をしている。ここも貯める機能を持っていて、これまで農地に水を注いできたため池であるが、機能してないため池も多々ある。
- ・ 上流域としてできる対応策を今後しっかり示しながらやっていくが、なかなか村のみでは大変であるため、補助・助成などをもらいながら整備ができれば、少しでも下流域に影響を及ぼさない、そんな対応ができると感じている。こういう場で色々意見交換しながら、進めていきたい。

### < 事務局 >

- ・ ご提案の上流域のダムやため池等をうまく活用するという方法についても検討に含めて活用させていただく。

### < 泉崎村 箭内村長 >

- ・ 資料2の17ページでは、現時点で想定される主な対策ということで、本村の場合には水防資機材の拡充とある。この対策のみで考えると本村の住民あるいは事業者にとっては負担だけが増えてしまう気がするが、そうした負担増に対しての支援、こういったものも検討してもらえると非常にありがたい。その点のご検討よろしくをお願いしたい。

### < 事務局 >

- ・ 今回の特定都市河川の指定に関して、例えば、貯留浸透施設の整備に関して補助率が増加するといった支援できるメニューなども含めてご紹介させていただきたい。具体的な事項については、今後、調整させていただく。